

くらく 久楽の場合、山歩きの**トレッキング**という言葉を使用。

一般的な説明としては、**登山**と、**ハイキング**と、**トレッキング**の違いは、
登頂を目指すことを、主な目的として、道具を利用した、本格的な山登りが、登山。
専門的な道具を使わず、山を登ったり、山麓を歩いたりするのがトレッキング。
時に、山頂も通過。雨上がりだけに、今朝の自然は、生き生き。



ハイキングは、山に限定されず、歩くコースが、難所を避けて、整備された道を、
歩くことが、ほとんど。装備も軽装、「歩きながら、風景や自然を楽しむ」ことが、主目的。

トレッキングは、山頂にこだわらず、山の中を歩き、山頂を通過することもある。

私の場合、**風景や自然を楽しむ**ことと、**画像記録が目的**。時に危険が伴う。

トレッキングという言葉は、よく使うので.....

異国での単身のトレッキングだけに、緊張と弛緩しかんの繰り返し。油断大敵と言いつけて。

～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

出会いの風景や動植物、何しろ単身での考動。

くどい説明は野暮。一枚の記録画像から、想像、推測していただければありがたい。

上見て、足元を見て、ガサッという音に驚き、一瞬緊張。五感全開。

しかし、自然の素晴らしさには、もはや、引き返せない。

